

# 国語科 学習の手引き

## はじめに

国語はあらゆる学習の基礎となります。授業だけでなく、進んで読書をしたり新聞記事を読んだり、あらゆる言葉や表現に触れる機会を増やして力を付けましょう。

## 1. 家庭学習では

### ○ 小学校からの習慣「本読み」を活かそう！【音読→読解力】

→「内容を理解して読める力」を身に付けましょう！初めての文章を声に出しながら内容を理解することは、やってみると意外と難しいもの。何度か声に出して読んでいくうちに、内容をイメージしながら読めるようになります。それが「文章の内容を理解している」ということ！

### ○ 分からない言葉を調べる！【語彙力】

→辞書を使って語句を調べる習慣づけが大事！語彙が増えれば文章をスラスラ読めます。

☆続けることが大事な取り組みですから、時間をかけるのではなく、隙間時間を上手に見つけて負担を感じないようにやるのがコツです。語彙も確実に増える学習方法です。

### ○ ワークは授業の進度に合わせて進めよう。【予習・復習】

→テスト範囲が発表されてからではなく、授業が進むごとに復習として使うのがおすすめです。また、ワークは予習として使うことでも効果があります。授業の発表がしやすくなったという声もよく聞きます。更に確実に力をつけたい人は1回目は別の用紙に、2回目にワークに書き込む方法も効果的。（課題提出に遅れないように！）

## 2. 授業では

### ○ 「ねらい」「ヒント」「トライ」「振り返り」を活用しよう。

「ねらい」…今日の授業でここまでできたら○ということを示しています。見通しを立てよう。

「ヒント」…「ねらい」に迫るための方法を示します。ここでは知識として覚えることも多いですが、問題を解くためのコツや生活に活かす知恵を身に付けるためにとても大事な事を示すことが多いです。必ず注目しましょう。

「トライ」…「ヒント」を活かしてねらいを達成できるか挑戦する時間です。単元にもよりますが、多くは自分の答えや考えを他の人に伝えたり、聞いたり、相談したりする時間です。こうした取り組みをすると「ヒント」の内容を活かす力が身に付きます。

「振り返り」…自分が今日の授業の「ねらい」を達成したかを確認する時間です。達成できていないと感じたら、ワークを使って復習したり、ノートを整理し直したりして必ず理解につなげましょう。もちろん先生に相談・質問しても構いません。

## 3. テスト勉強では

### ○ 間違えたら自分にペナルティ！「10回書き」【間違い直しを中心とした反復練習】

教科書の問題、ワークの問題、漢字練習でやりましょう。

### ○ 教科書「学習目標」にそって答えていく勉強をしよう。

基本的には授業でやったことです。授業を振り返るつもりで答えていきましょう。授業ノートをまとめ直してもいいですね。上手く答えられない、自信がない…そんな時は先生に質問しよう。